

2024 年卒

3月1日時点の就職活動調査 〈速報〉

キャリタス就活 2024 学生モニター調査結果（2023年3月発行）

2024年卒の採用広報が3月1日に解禁され、多くの学生が就職活動を本格的にスタートさせた。コロナ禍からの業績回復などを背景に企業の採用意欲が一層高まる中で、どのようなスタートを切っただろうか。キャリタス就活・学生モニターを対象に、解禁直後の就職活動状況や意識について調査を行った。

1. 3月1日時点の内定状況

- 内定率は32.4%。前年同期実績(28.6%)を3.8ポイント上回る
○内定企業の7割強(73.9%)が「インターンシップ等(※参加企業)」活動終了者は全体の7.4%

2. エントリー状況

- 一人あたりのエントリー社数は平均 19.1 社。前年同期（19.6 社）より微減

3. 就職活動解禁を迎えた心境

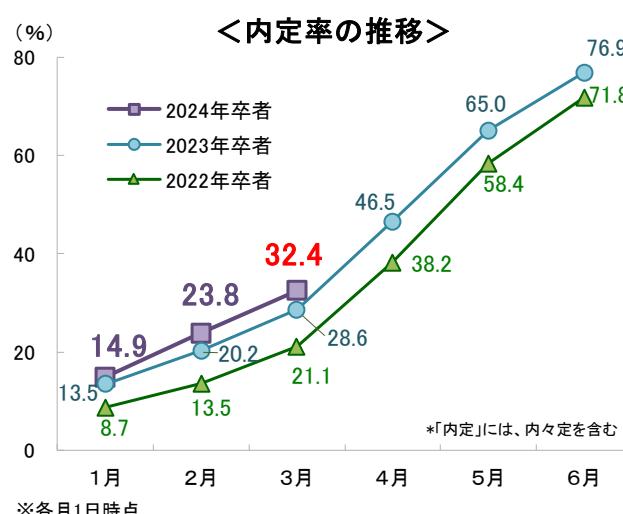
- 「いよいよ本格的に始まった」(50.2%) と「いまさらという感じ」(45.0%) の差が縮小

※「内定」には内々定を含む ※1日以内のプログラムも含めて調査

1. 3月1日時点の内定状況

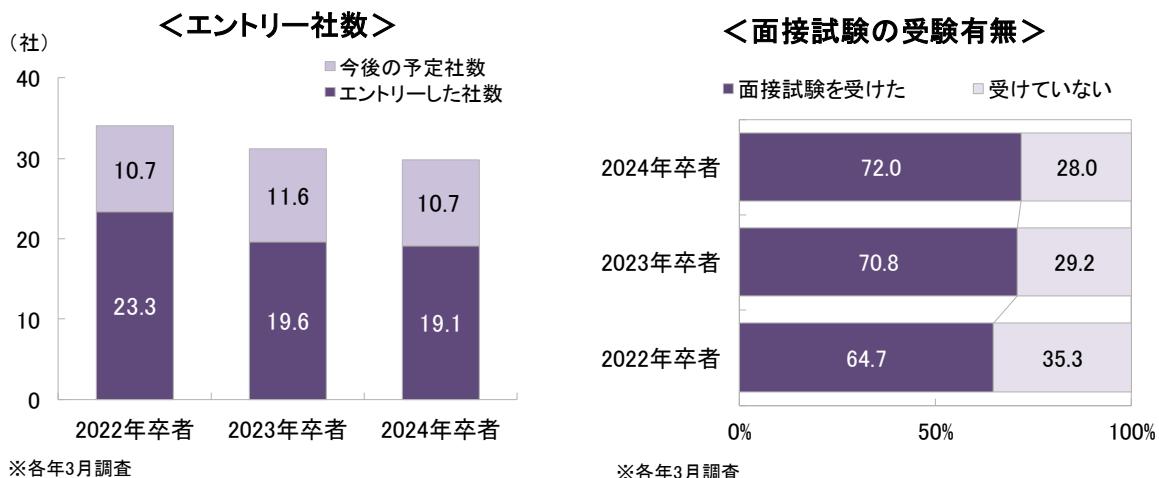
3月1日で内定を得ている学生は全体の32.4%。前回調査（23.8%、2月調査）からの1カ月間に8.6ポイント上昇し、就活解禁のタイミングで就活モニターの3割が内定を手にしていることがわかった。前年同期実績（28.6%）を3.8ポイント上回っており、現在の日程ルールが8年目を数える中で、早期化が一段と進行していることが読み取れる。内定企業の7割強（73.9%）がインターンシップ等のプログラムに参加していた企業。

内定取得者の大半は内定を保持しながら就職活動を継続しており、就活終了者（就職先決定）はモニター全体の7.4%。多くの学生にとって本番はこれからだ。



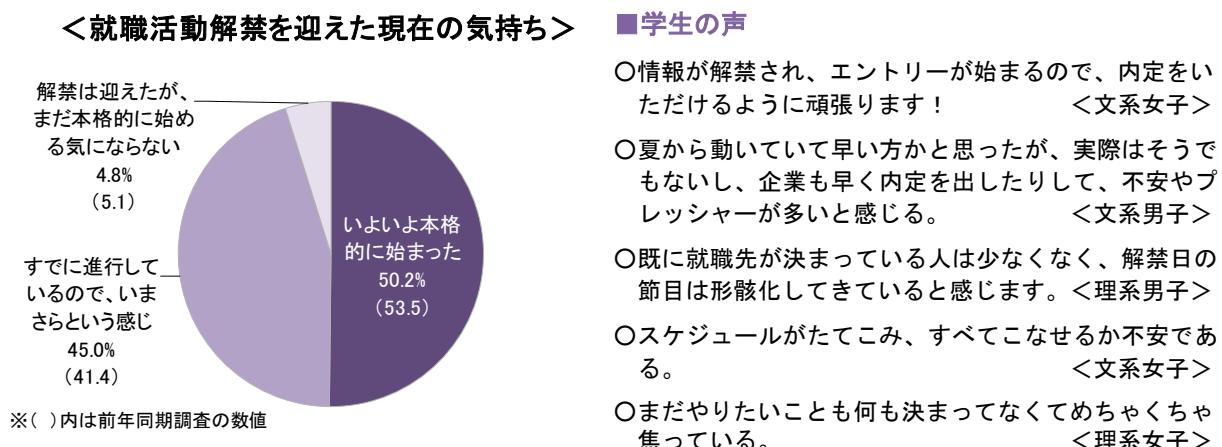
2. エントリー状況

一人あたりのエントリー社数の平均は 19.1 社で、前年同期実績 (19.6 社) から微減した。今後のエントリー予定社数は平均 10.7 社で、同様に前年調査 (11.6 社) を下回る。一方で、すでに面接試験を受けたという学生は前年よりさらに増加し、72.0% に上る。早い時期に接点を持った企業の選考が先に進んでいることで、視野を広げる必要性は薄くなり、エントリー企業を絞り込む傾向に繋がっていると考えられる。



3. 就職活動解禁を迎えた心境

3 月 1 日の「解禁日」を迎えた心境を尋ねた。自分の気持ちに近いものを選んでもらうと、「いよいよ本格的に始まった」と回答した人が最も多いうものの (50.2%)、前年調査より割合は低下。その分「いまさらという感じ」が増加し (45.0%)、両者の差は縮まった。上述のように本選考が前倒しで進み、内定率が 3 割を超える状況では、解禁日を意識する学生が減るのは当然だろう。



調査概要

調査対象： 2024 年 3 月に卒業予定の大学 3 年生 (理系は大学院修士課程 1 年生含む)
 回答者数： 1,264 人 (文系男子 384 人、文系女子 408 人、理系男子 318 人、理系女子 154 人)
 調査方法： インターネット調査法
 調査期間： 2023 年 3 月 1 日～6 日
 サンプリング： キャリタス就活 2024 学生モニター